

No. 45 2026年 10 月 4 日		本 日 の 集 会				◇今週の説教要旨(世界聖餐日主日礼拝)			
説教	世界聖餐日主日礼拝					『12歳のイエスさま』ルカ福音書 2章41～52節			
	吉丸初美 師					主なる神の贖いの業が凝縮されているイエス・キリストの御姿は少年イエスのエルサレム訪問の出来事において示されている。イエスの少年時代を記したのはルカだけ。成年に達したすべてのユダヤ人は民族の三大祭りを守らなければならなかった。過越の祭は出エジプトにおける神の贖いの恵みを記憶に鮮明に刻み付けるためのものだった。イエスの両親は毎年この事を守りエルサレムに上る敬虔な信仰者だ。ユダヤ人の子どもは13歳になったとき、この律法に服することになっていた。そこで両親は一人前になりかけている12歳のイエスをその祭りに同行させた。祭りの期間が終わり、イエスは自分の意志でエルサレムに残ったことを両親は知らなかった。帰りの巡礼の中彼の不在に気づきエルサレムに戻った両親が見つけた時のイエスの言葉・振る舞・姿に注目したい。誕生後初めて発したイエスの言葉は衝撃的だった。それはイエスの自己証言。わたしの父は誰か。わたしは神の子である。両親は想像もしてなかった光景を目にした。彼の両親ほどイエスの事を理解している人はいないはずなのに、彼らはイエスの言葉も振る舞も理解できなかった。両親のなぜとイエスのなぜの間には確かに溝がある。見失ってはいけないものは何か。それがイエスの姿に示されている。わたしたちが目を止めるべきはイエスの姿ではないだろうか。それは、主と共にあり熱心に御言葉に聞くこと。この姿こそがわたしたちが見失うことない姿として、目に焼き付ける必要があるのではないか。エルサレム神殿の少年イエスの姿は、神の子だから当たり前のことではなく神の子であるイエスの人としての姿がここでは描き出されている。不思議なことだが、信仰の歩みの中で耐えられないほどの苦難や悲しみに遭遇したとき、わたしたちはイエスの姿を見失うことがある。そこで誰に従っているのかと問われている。その時こそわたしたちを愛し十字架で殺され復活した主は共におられることを信じ、主を信頼してこの終末の中を歩みたい。			
	司会 吉丸初美さん								
	奏楽 自動演奏機								
	招詞 IIコリント人 9章6～7節								
	主の祈 (5 6 4)								
	讃 詠 5 4 6								
	交読詩編 詩 6 5 編								
	祈 禱								
	讃 美 歌 21 - 3 8 6								
	使徒信条 (5 6 6)								
説教	書 ルカ福音書 2章41～52節					主なる神の贖いの業が凝縮されているイエス・キリストの御姿は少年イエスのエルサレム訪問の出来事において示されている。イエスの少年時代を記したのはルカだけ。成年に達したすべてのユダヤ人は民族の三大祭りを守らなければならなかった。過越の祭は出エジプトにおける神の贖いの恵みを記憶に鮮明に刻み付けるためのものだった。イエスの両親は毎年この事を守りエルサレムに上る敬虔な信仰者だ。ユダヤ人の子どもは13歳になったとき、この律法に服することになっていた。そこで両親は一人前になりかけている12歳のイエスをその祭りに同行させた。祭りの期間が終わり、イエスは自分の意志でエルサレムに残ったことを両親は知らなかった。帰りの巡礼の中彼の不在に気づきエルサレムに戻った両親が見つけた時のイエスの言葉・振る舞・姿に注目したい。誕生後初めて発したイエスの言葉は衝撃的だった。それはイエスの自己証言。わたしの父は誰か。わたしは神の子である。両親は想像もしてなかった光景を目にした。彼の両親ほどイエスの事を理解している人はいないはずなのに、彼らはイエスの言葉も振る舞も理解できなかった。両親のなぜとイエスのなぜの間には確かに溝がある。見失ってはいけないものは何か。それがイエスの姿に示されている。わたしたちが目を止めるべきはイエスの姿ではないだろうか。それは、主と共にあり熱心に御言葉に聞くこと。この姿こそがわたしたちが見失うことない姿として、目に焼き付ける必要があるのではないか。エルサレム神殿の少年イエスの姿は、神の子だから当たり前のことではなく神の子であるイエスの人としての姿がここでは描き出されている。不思議なことだが、信仰の歩みの中で耐えられないほどの苦難や悲しみに遭遇したとき、わたしたちはイエスの姿を見失うことがある。そこで誰に従っているのかと問われている。その時こそわたしたちを愛し十字架で殺され復活した主は共におられることを信じ、主を信頼してこの終末の中を歩みたい。			
	教 (口語訳87頁 新共同訳104頁)								
	『 12 歳の イエス さま 』								
	祈 禱								
	讃 美 歌 2 1 - 3 9 5								
	聖 餐 式 (司 式 : 山 根 眞 三 師)								
	献 金								
	感 謝 告 白								
	報 栄 5 3 9								
	頌 禱								
	後 奏								
次週の礼拝 (三位一体後第十九主日礼拝)									
説教『神の言葉を聞いて』									
ルカ福音書 5 章 1～11 節									
招詞 テモテの第二の手紙 2章16節									
交読詩編 3 2 篇									
讃 美 歌 546、21-8、21-520、540									
礼 拝 当 番									
今週 4 日 司会 吉丸初美さん									
次週 11 日 司会 吉丸初美さん									
会 堂 清 掃 奉 仕									
						先 週 の 集 会			
						教 会 学 校			
						主 日 礼 拝			
						聖書を読む会			
						食 事 会			